

福井ふるさと学びの森 安全活動講習会兼情報交換会
～福井ふるさと学びの森ネットワーク大会 2018～

- 1 日 時：平成30年11月21日（水）10：00～16：00
- 2 場 所：おおい里山文化交流センター、名田庄こども園、八ヶ峰家族旅行村
（おおい町名田庄地区）
- 3 参加者：15団体31名
- 4 講 師：NPO法人森林楽校・森んこ 萩原茂男氏
（株）ヒューマンフォーラム（ムモクテキファーム）
processed food/workshop ディレクター 宮本亮太氏

5 開催概要：

【里山文化交流センター／10:00～10:20】

（1）開会

- ・開会あいさつ（副所長）
- ・スケジュール確認（事務局）
- ・実地研修の事前ミーティング



【名田庄こども園／10:30～11:30】

（2）実地研修（森のようちえん活動）

（講師：NPO法人森林楽校・森んこ 萩原茂男氏）

- ・三班に分かれて、3～5才児クラスで子どもたちとの遊び体験。
- ・折り紙、紙飛行機づくり、絵本の読み聞かせなど、年齢に応じた遊びを通して、幼児との接し方について学んだ。
- ・講師の萩原さんからは、幼児と接するといつも新たな学びがあること、また、幼児が一人の場合と集団の場合では、気の配り方、注意すべき点が全く違うという説明があった。
- ・参加者からは、屋外で幼児を対象に自然体験活動をするが、屋内で集団の幼児と接する機会がなかったので勉強になったとの意見があった。



【八ヶ峰家族旅行村／12:00～16:00】

（3）自己紹介（12:00～）

- ・自己紹介および活動紹介



(4) 情報交換会 (12:20～)

- ・ジビエ (鹿、猪、熊) の試食をしながらの情報交換会
- ・名田庄地区で狩猟をしている向さんからジビエについての話があった。特に「熊」についての話題が豊富であり、参加者は興味深く話を聞いていた。



(5) 座学講習「モノ・コト・ヒトで町と田舎をつなげる」(13:30～)

(講師：(株) ヒューマンフォーラム ディレクター 宮本亮太氏)

① 講義

- ・アパレルの会社がなぜ農業を始めたのか。
「生きる」をつくる、をコンセプトに、京都府美山町でオーガニック農業を営んでいる。
- ・町と田舎をつなぐためには、モノ (衣・食・住、自然、資源)、コト (遊び、学び、体験)、ヒト (モノ、コトをつなぐきっかけ) が必要である。



- ・田舎でいろいろなチャレンジをすることで、新しい暮らしのあり方が生まれ、コミュニティができる。

② 意見交換

- ・ボランティア団体も自然体験活動を事業として実施している団体でも、活動を継続するためには運営費や継承者の面で課題がある。やる気、気力で乗り越え、次の世代のお手本となっていくことが必要ではないか。
- ・住民を増やすのか、観光客を増やすのか、目的によりやり方が異なるが、ともに情報を発信してくれるような関係の濃いつながりを作っていくことが大切だと考える。

(6) 安全活動講習「野外活動時の安全確保」(15:15～)

(講師：NPO法人森林楽校・森んこ 萩原茂男氏)

- ・年長児20名と保育士3名とともにカレー作りをする依頼を受けて、現地に下見に来たという設定で、フィールドワークを実施。6班に分かれてキャンプ場周辺の地形や、設備について確認した。
- ・調理時には作業動線について決まり事をつくる、調理台を幼児の高さに合わせる、など、班ごとに意見を出し合った。班により違う視点で安全チェックをしており、様々な意見が出た。



(7) 閉会 (16:00)